

平壤監司饗宴圖



33 城内の風景

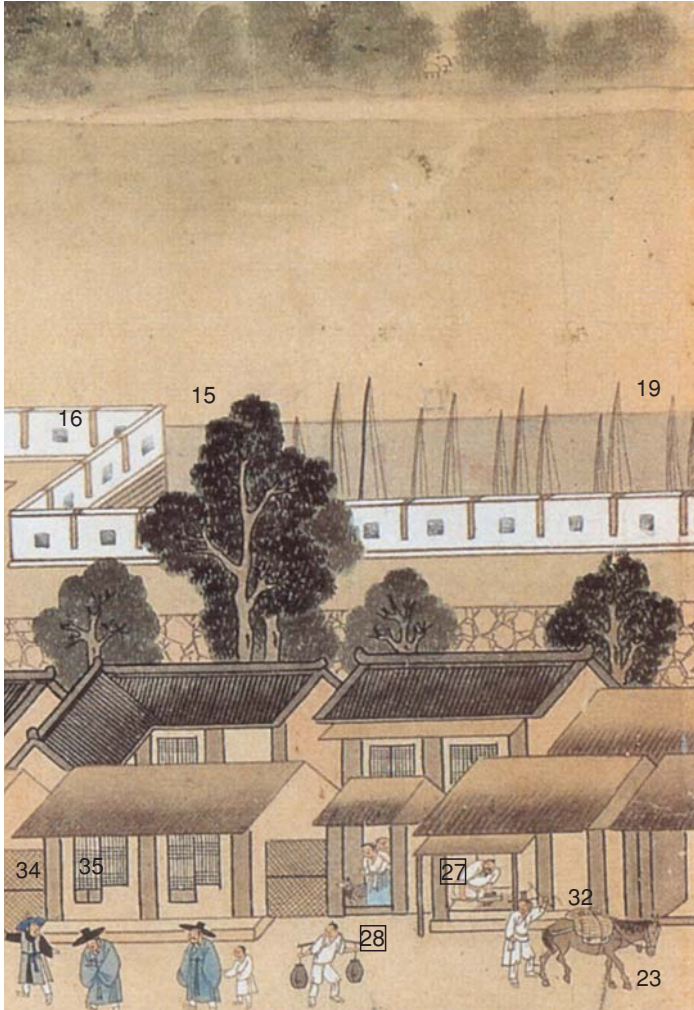


大同江に面した平壤城の城内を描いた風景である。門は平壤城の東門である大同門で、門の付近には民家と商店が並び、にぎやかである。画面左には練光亭の入り口が描かれ、その周辺には多くの官吏や兵卒の姿が目立つ。

平壤は朝鮮時代に平壤府と呼ばれ、監察使が置かれて朝鮮北部の行政と軍事を統括する中心都市であった。大同門門楼は「挹瀨楼」と呼ばれ、練光亭、浮碧楼、牡丹峰などと共に、平壤の名所として知られ、平安道文人の詩話書である『西京詩話』にもその美しい景色が数多く詠まれている。図にみえるように大同門には、城内側に「挹瀨楼」の扁額がかかっているが、大同江側には「大同門」と掲げられていた。

また大同門は、平壤監司が赴任の際に官船で大同江を渡り城内に入る重要な城門で、門の近くには船

着場が設けられ、大勢の人々で賑わったという。画面右の帆の先端が見える所がその船着場であろう。城内に向かって左側には大勢の軍卒が見える。赤い槩毛が付いた帽子（戦笠）に軍服（号衣）を着衣しているのは、使令と呼ばれる兵卒である。絵には5頭の馬がみえるが、そのうちの左側に描かれた2頭は位の高い官吏が乗ってきたのか、画面右端の荷鞍を載せた運搬用の馬と対比される。画面中央部には、荷鞍を載せた黄牛が使令に追い払われる様子が描かれる。城門の入り口付近にある板壁の小屋は、煙草売りなのか、男が押切りで煙草の葉のようなものを刻んでおり、その前に立つ黒笠に上衣（中致莫）姿の男性は客であろう。その右に立つ3人の男性は上衣の中致莫に黒笠、そして扇子を持っていることから両班、その下の青帖裏姿に草笠の人物は冠礼した少年の姿であり、城内には様々な階層の人物が描か



れている。

水甕を担ぐ男が3カ所に描かれている。古くから大同江の水はきれいで、飲用水を汲みにきた人で賑わったというが、天秤棒に水甕を吊るして城内に入る男は、大同江から汲んだ水を運んでいるのであろう。水運び専用の天秤棒は、足の付いていない小型の背負梯子に固定されたもので、一般にムルジゲ(水運搬用背負梯子)と呼ばれ、ムルジゲを背負った男や水甕を頭上運搬する女性たちの姿は20世紀の前半まで見られたという。大同門門楼の名称「挹瀨楼」は「門楼から手を差し伸べ、きれいな大同江の水をすくいあげる」との意味であるが、大同門周辺にみる飲用水を運ぶ庶民の姿は、古くから大同江と結びついたイメージとして定着していたのであろう。(金)

- | | |
|--------------|------------|
| ① 城楼 | ① 성루 |
| 2 大棟 | 2 용마루 |
| 3 鷗尾 | 3 망새 |
| 4 降り棟 | 4 내림마루 |
| 5 入母屋 | 5 합각 |
| 6 飾り瓦(雑像) | 6 잡상 |
| 7 風鐸 | 7 풍경 |
| 8 扁額「挹瀨楼」 | 8 현판〔읍호루〕 |
| 9 垂木 | 9 씨가래 |
| 10 斗拱 | 10 두공 |
| 11 頭貫 | 11 대들보액방 |
| 12 円柱 | 12 두리기둥 |
| 13 高床 | 13 누마루 |
| 14 欄干 | 14 난간 |
| 15 甬道(雉) | 15 치 |
| 16 胸壁 | 16 성가퀴 |
| 17 門楼壁(武砂石) | 17 무사석 |
| 18 アーチ | 18 홍예문 |
| 19 帆 | 19 돛 |
| 20 渡し船 | 20 나룻배 |
| 21 棍棒(棍杖) | 21 곤장 |
| 22 旗 | 22 기 |
| 23 馬 | 23 말 |
| 24 衙前・官職 | 24 아전 |
| 25 使令・官職 | 25 사령 |
| 26 棍棒 | 26 곤봉 |
| 27 押切りで刻む | 27 작두질을 하다 |
| 28 水甕を天秤棒で担ぐ | 28 물지게를 지다 |
| 29 荷包みを背負う | 29 봇짐을 지다 |
| 30 杖 | 30 지팡이 |
| 31 黄牛 | 31 황소 |
| 32 荷鞍 | 32 길마 |
| 33 棚店 | 33 가설점포 |
| 34 網代壁 | 34 사자리벽 |
| 35 腰格子戸 | 35 띠살문 |

34 街の賑わい

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 壁に寄りかかって休む | 1 벽에 기대어 쉬다 |
| 2 飴売り | 2 엿장수 |
| 3 孔雀羽 | 3 공작우 |
| 4 軍服 (戦服) | 4 전복 |
| 5 軍服 (狭袖) | 5 동달이 |
| 6 飾り羽根 (禦毛) | 6 삭모 |
| 7 杖 | 7 지팡이 |
| 8 手をつなぐ | 8 손을 잡다 |
| 9 上衣 (帖裏) | 9 철릭 |
| 10 小脇に抱える | 10 옆구리에 끼다 |
| 11 負い紐 | 11 멜빵 |
| 12 荷包み | 12 붓집 |
| 13 水甕 | 13 물동이 |
| 14 頭上運搬 | 14 머리에 이고 나르다 |
| 15 お下げ髪 | 15 땅은머리 |
| 16 飴盛り板 | 16 엿판 |
| 17 地面に座る | 17 땅바닥에 앉다 |
| 18 鞍 | 18 안장 |
| 19 鐙 | 19 등자 |
| 20 鞞 | 20 밀치 |
| 21 天秤棒 | 21 멜대 |
| 22 天秤用チゲ | 22 물지게 |
| 23 股引 | 23 잠방이 |
| 24 背負う | 24 짊어지다 |
| 25 帽子飾り (虎鬚) | 25 호수 |
| 26 フェルト帽 (ボンゴジ) | 26 병거지 |
| 27 フェルト帽 (戦笠) | 27 전립 |
| 28 扇子 | 28 접부채 |
| 29 荷鞍 | 29 길마 |
| 30 寄棟 | 30 우진각 |
| 31 格子窓 | 31 격자창 |
| 32 軒下 | 32 처마밑 |
| 33 入母屋 | 33 팔작집 |
| 34 庇 | 34 차양 |
| 35 甕 | 35 독 |
| 36 切妻 | 36 맞배집 |



平壤の繁華街の様子を描く。描写は建物を直線の組み合わせで描いているので、必ずしも写実的とは言えない。建物は入母屋式・寄棟式・切妻式の屋根が入り混じっており、多様な建て方がされている。屋根は草葺きで、商店はそこから庇を出して、雨よけとしている。多くの建物では、建物の横の犬走にあたる軒下部分は一段高くなっている。

町中をさまざまな人々が行き来する。特に注目されるのが運搬方法の多様性である。まず、頭上運搬が描かれている。道の中央部では2人の女性が水甕を頭の上に載せ、右手で支えて歩いている。その右となりには横長の箱を頭に載せている少年がいる。頭上運搬の女性の左側には、風呂敷包みを担い縄で、背負っている男性がおり、これと同様の運搬法をし



ている様相は右側上方にも描かれている。また、天秤棒の前後に水瓶を吊り下げて、その吊りした綱を両手で支えながら歩いている2人の男性が見える。いずれも肩で天秤棒を担ぐのではなく、天秤棒専用の背負梯子に天秤棒が固定されており、水の運搬に用いられた。肩で担ぐ日本の天秤棒による運搬よりも支点が低い。大同江は水質の良いことで知られ、その水を汲んで飲用水にした。またその水を売り歩く水売りもいた。街中に水の運搬が多く描かれたのもそのためである。

図の左端には首から紐で底浅の箱を吊している少年が見られる。当時人が集まるところには必ず現れた飴売りと思われる。繁華街に入ってくる動物は馬である。いずれの馬も鞍を付け、鐙が下げられてい

るので、人々が馬に乗ってきたことが分かる。図の上部に荷鞍を載せた馬が見られる。馬が人間や荷物を運ぶ重要な手段であったことが示されている。

その他に、街中を歩く多くの市民が描かれている。帽子（笠）を被り、一様に同じ服装をしている。その中で、中央部に描かれた老女が孫の手をとって立っている姿が注意される。老女は長い杖を右手に持っている。杖を手にしてしているのはこの老女ぐらいで、他には見られない。この図の範囲外には警備員と思われる人物たちが棍棒を持って人々を整理したり、制止したりしている。この絵の中には、老女を除くと、杖とか棒を携えている人物はいない。日本では、物を運ぶに際して多くの人が杖を携えた。それと比較すると興味深い。（福田）

35 御座船に乗る平壤監司



平壤監司が赴任した際に大同江で行われた夜の宴を描いたものである。夜の宴にふさわしく、丸提燈、行燈、青紗燈籠などが点され、川の上にも篝火が浮かんでいる。中央の大きな船に屋形がしつらえられ、舳先の左右船縁には、2人の船頭が一組になり、大形の櫓を漕いでいる。屋形の中の一段高い壇に、虎皮の敷物を敷いて、深く腰掛けているのが平壤監司である。監司は、文・武官の軍服である帖裏に幅の

広い朱色の帯をし、割符入れを垂らしており、平安道の行政・軍事を総括する地位にあることを示している。監司の右手には、官印を収める官印箱が置いてあり、さらにその隣には官妓が侍している。船の舳先の方では4人の楽士が縦笛、横笛、胡弓を演奏しており、その前に武官が弓を背負って警備している。

この船の回りには小さな川船が併漕している。青



- | | |
|----------------------|-------------------|
| ① 官船 | ① 관선 |
| 2 篝火 | 2 화투불 |
| 3 日傘 | 3 일산 |
| 4 フェルト帽 (ボンゴジ) | 4 병거지 |
| 5 槍飾り (轟) | 5 뚝 |
| 6 フェルト帽 (戦笠) | 6 전립 |
| 7 孔雀羽 | 7 공작우 |
| 8 矢筒 | 8 전통 |
| 9 帽子飾り (虎鬚) | 9 호수 |
| 10 縦笛 | 10 피리 |
| 11 横笛 | 11 대금 |
| 12 胡弓 | 12 해금 |
| 13 笙 | 13 생황 |
| 14 櫓を漕ぐ | 14 노를 짓다 |
| 15 櫓 | 15 노 |
| 16 庇のれん | 16 차일포럼 |
| 17 屋形 (亭子閣) | 17 정자각 |
| 18 提燈 | 18 제등 |
| 19 行燈 | 19 사각등롱 |
| 20 官妓 | 20 관기 |
| 21 監司・官職 | 21 감사 |
| 22 上衣 (帖裏) | 22 철릭 |
| 23 虎皮の敷物 | 23 호피 |
| 24 割符入れ | 24 병부주머니 |
| 25 官奴 (通引) | 25 통인 |
| 26 両手を袖の中で合わせてお辞儀をする | 26 두 손을 모으고 절을 하다 |
| 27 青紗燈籠 | 27 청사초롱 |
| 28 笠 | 28 삿갓 |
| 29 お下げ髪 | 29 땅은머리 |
| 30 丸提燈 | 30 둥근 제등 |

紗燈籠を持つ兵卒が乗る船などが見える。監司の船を護衛しているのであろう。また、別の船には、両手を反対の袖の中に入れ、礼をしている者もいる。陪行の者であろうか。小さな船には、数人の男のほか、子供も乗せた船が見える。櫓の漕ぎ方や種類の異なる船に役割の異なる人々が大勢乗りこんでおり、宴の盛大さが窺える。(中野)